

鉄道係員に対する暴力行為の件数・発生状況について (平成30年度上期／大手民鉄16社)

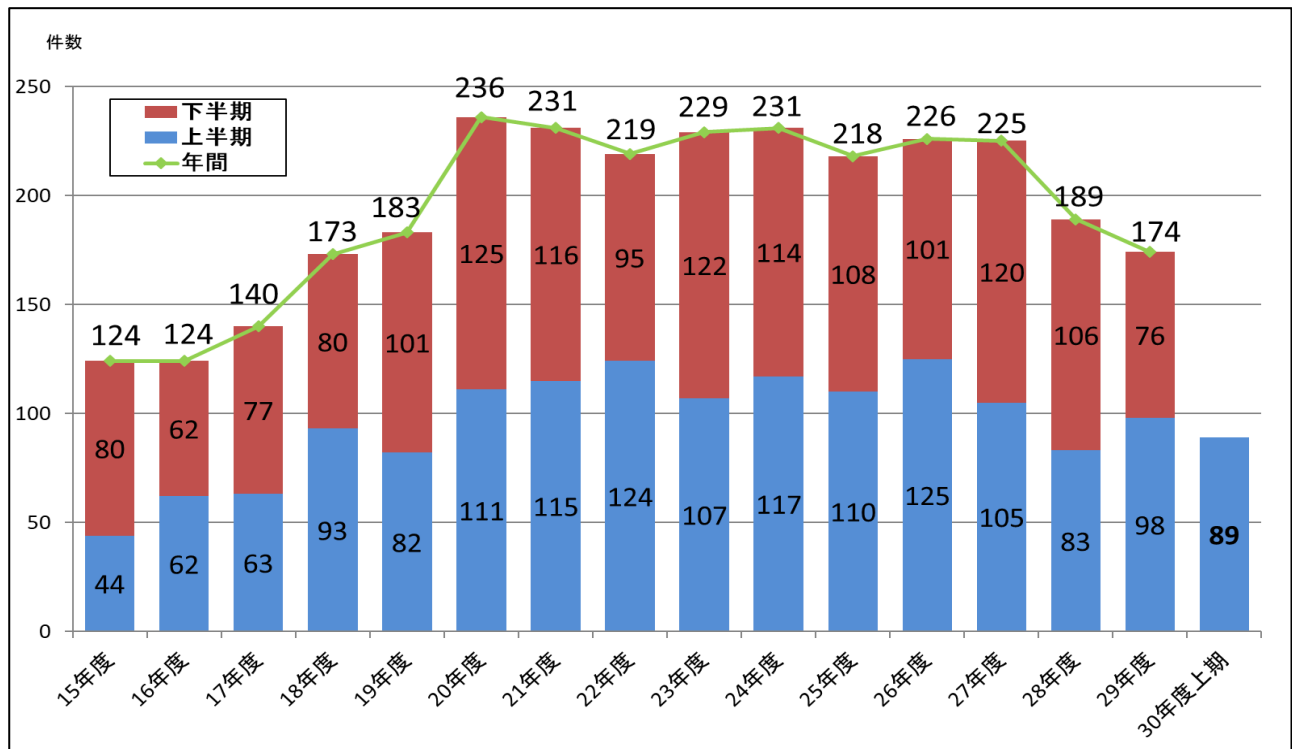
日本民営鉄道協会では、大手民鉄16社（東武、西武、京成、京王、小田急、東急、京急、東京メトロ、相鉄、名鉄、近鉄、南海、京阪、阪急、阪神、西鉄）における平成30年度上期（4月～9月）6ヶ月間に発生した駅係員や乗務員等の鉄道係員に対する暴力行為の件数について集計を行いました。

暴力行為の発生件数は対前年同期比9件減少し、89件となりました。

暴力行為が発生する状況としては、鉄道係員が配慮されたお客様に近づいた時や理由なく突然に行われるケースが多く、時間帯については深夜帯（22時以降）に集中して発生しています。また、加害者年齢は幅広い年代に分布しております。

犯罪である暴力行為をなくし、安全で快適な鉄道を維持するため、当協会では引き続き啓発ポスターの掲出など各種の取り組みを実施してまいります。

年度別発生件数



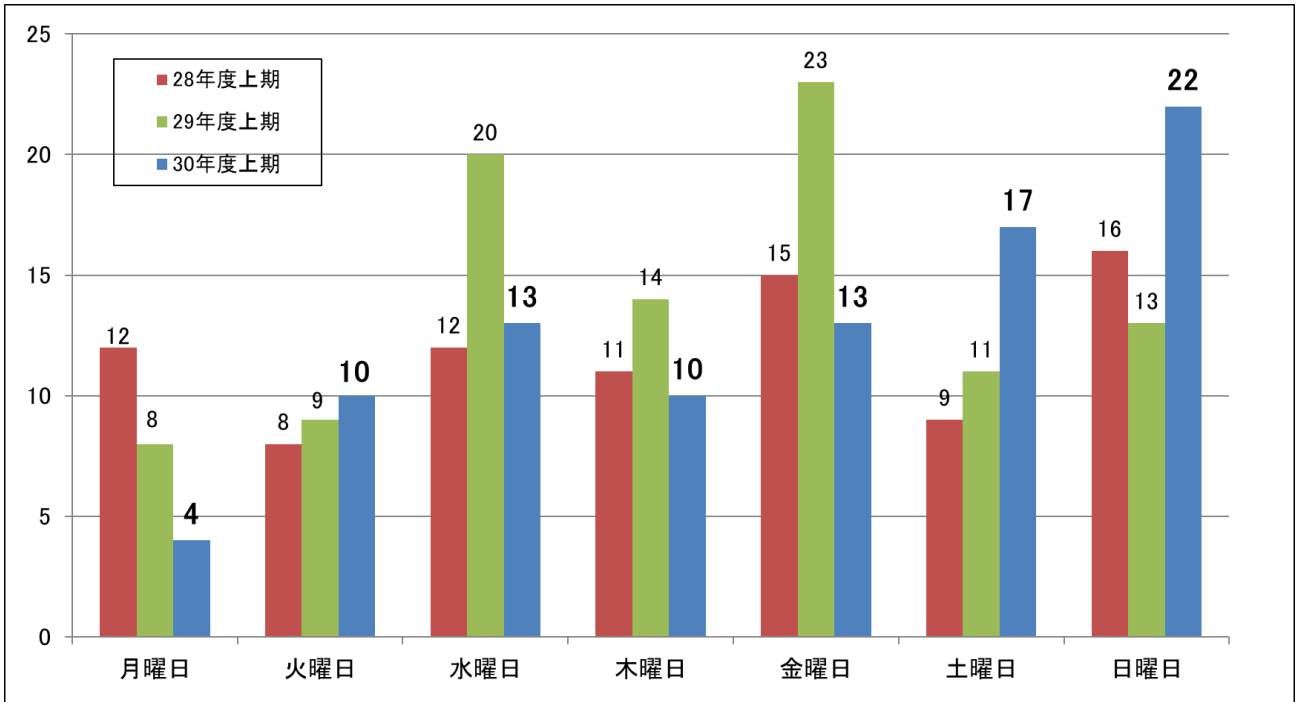
（ご参考）以下の項目の集計結果を別紙にて紹介しています

1. 曜日別 発生件数
2. 時間帯別 発生件数
3. 主な場所別 発生件数
4. 主な契機別 発生件数
5. 加害者年齢
6. 加害者の飲酒状況
7. 具体的事例

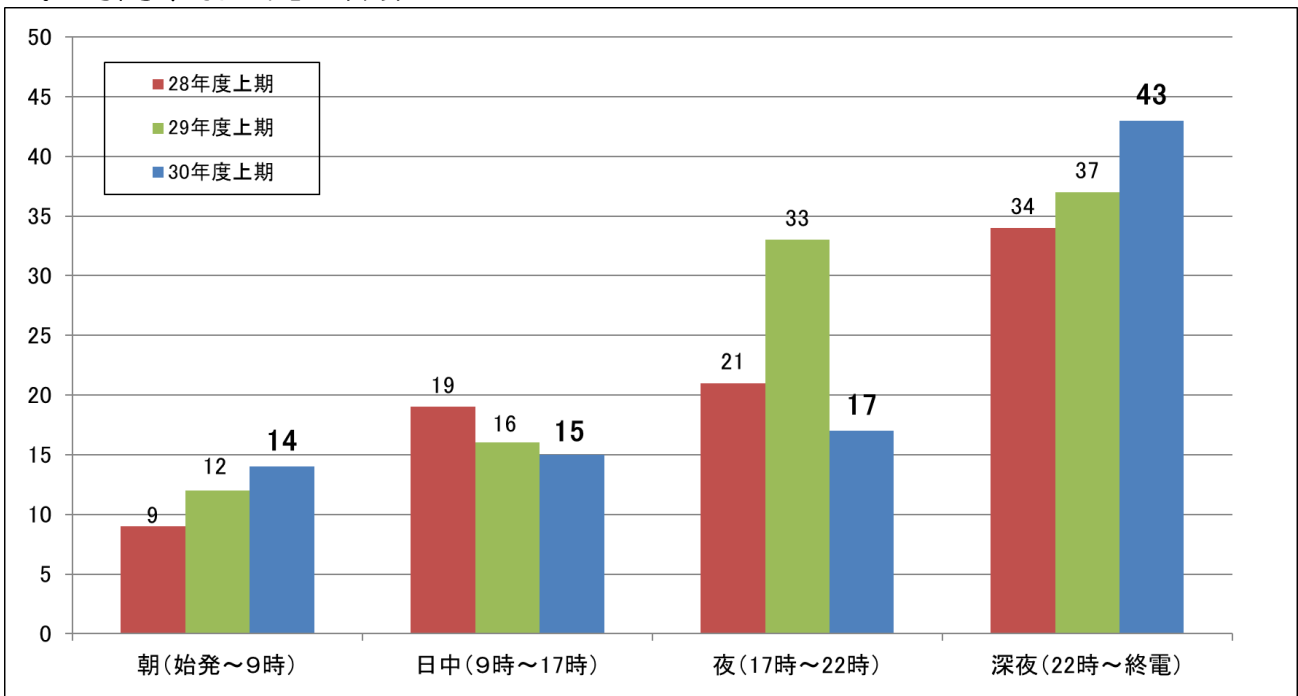
※なお、別紙に記載しておりますこと以外の詳細な内容や件数は、公表しておりません。

鉄道係員に対する暴力行為の発生状況別件数・具体的事例等(詳細)

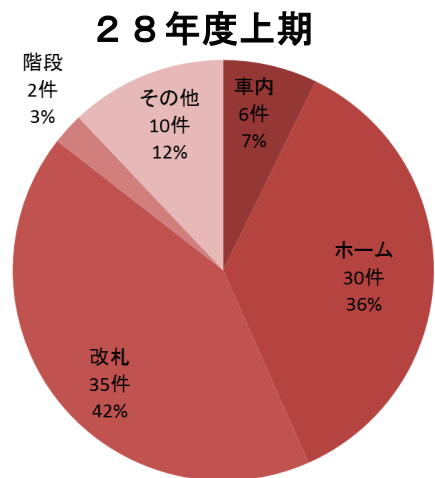
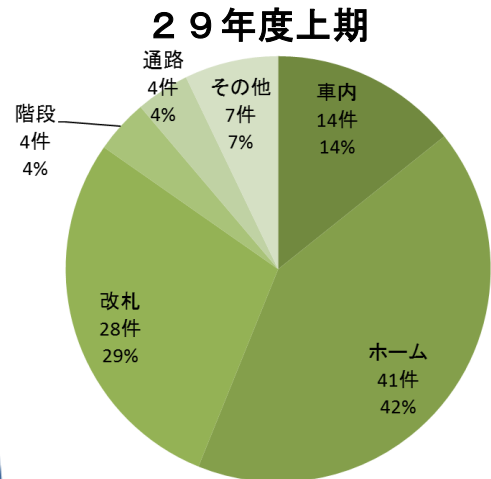
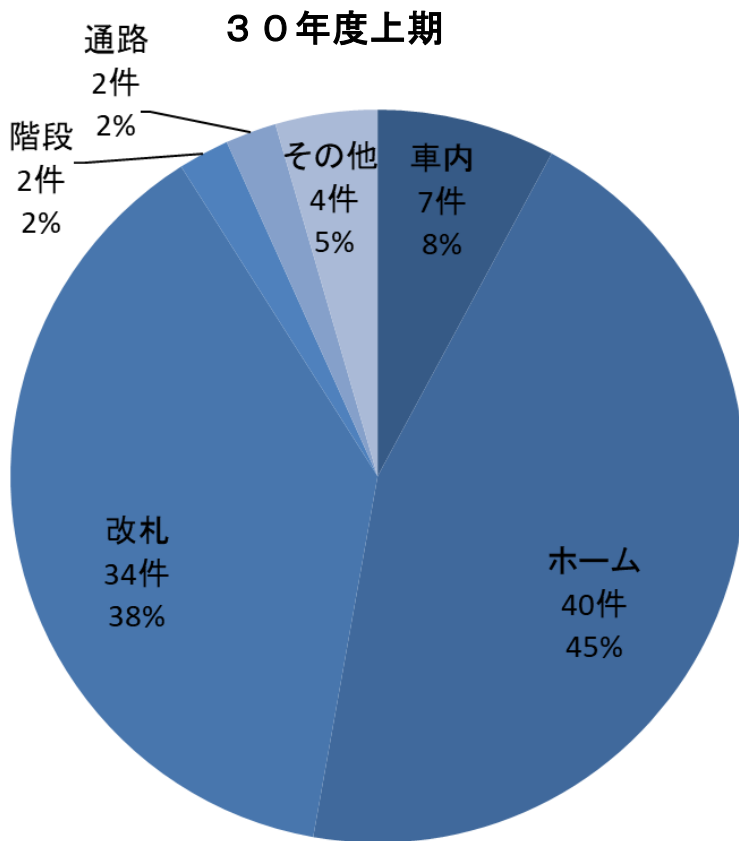
1. 曜日別 発生件数



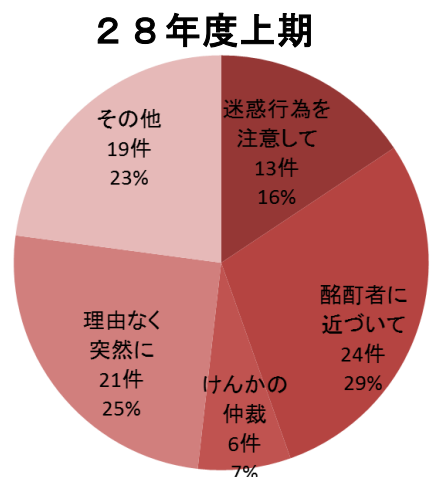
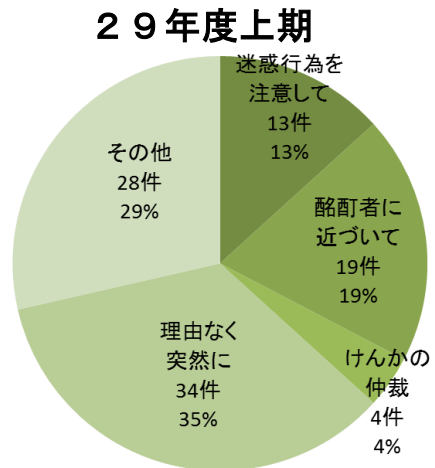
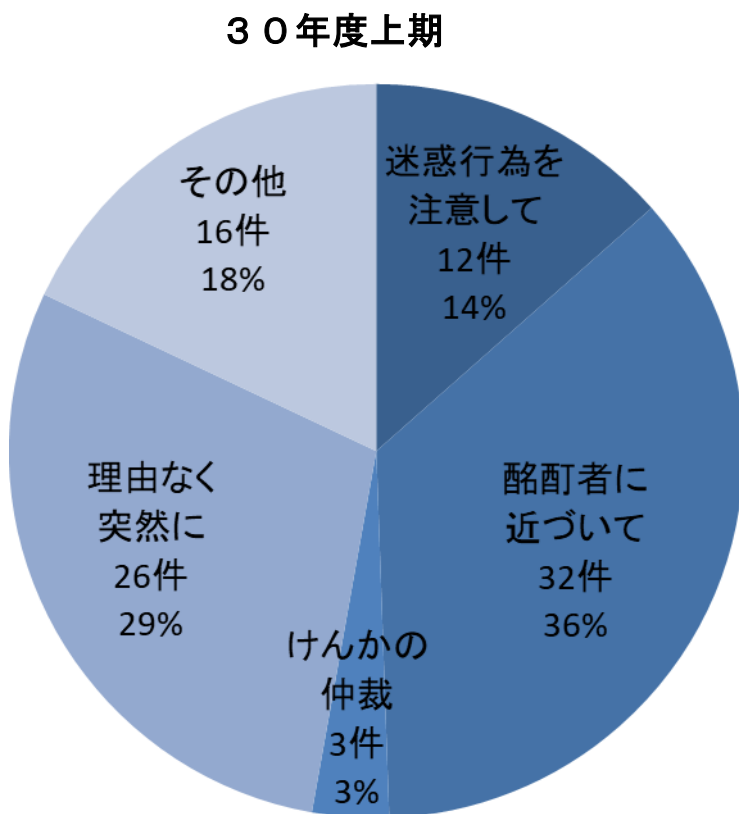
2. 時間帯別 発生件数



3. 主な場所別 発生件数

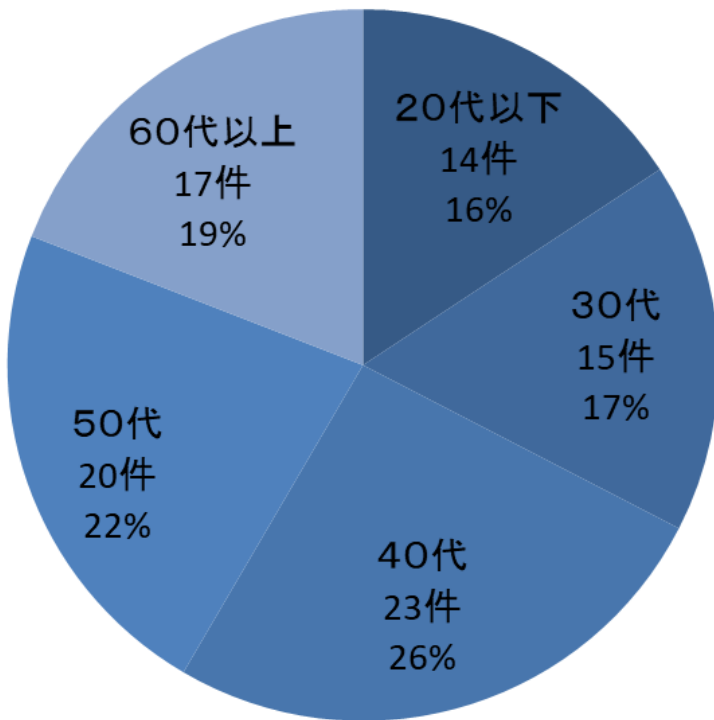


4. 主な契機別 発生件数

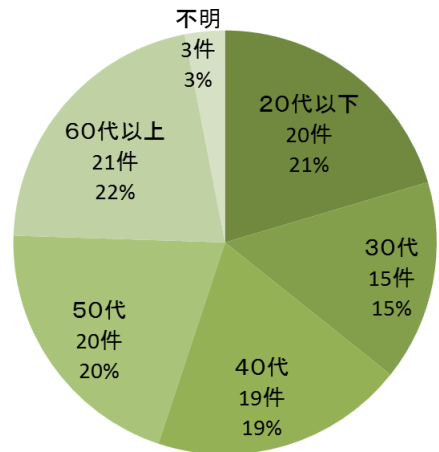


5. 加害者年齢

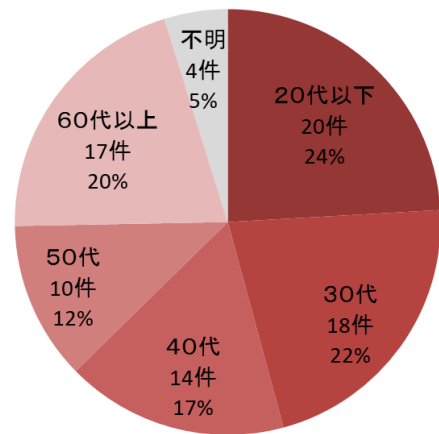
30年度上期



29年度上期

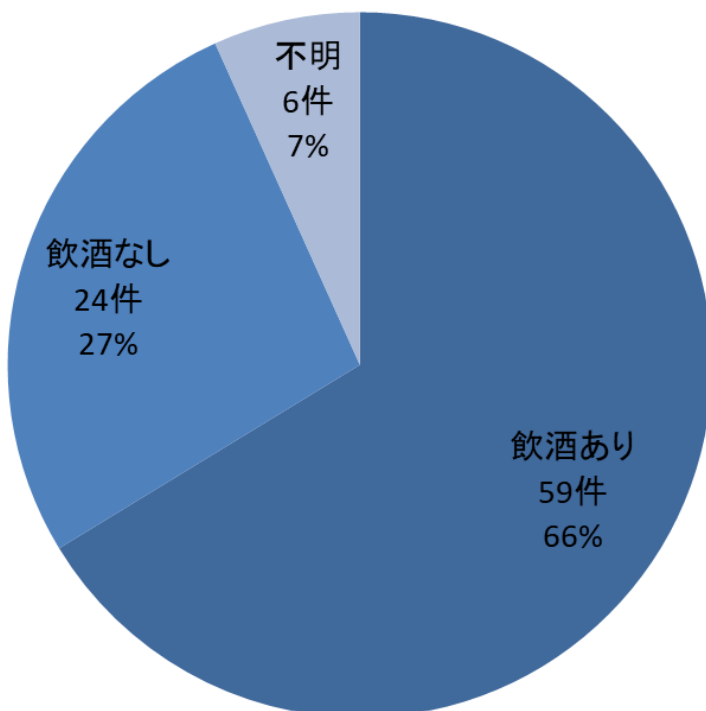


28年度上期

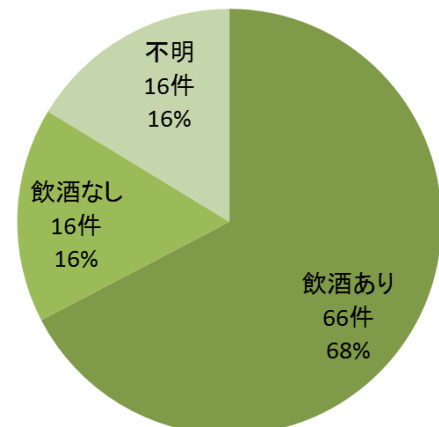


6. 加害者の飲酒状況

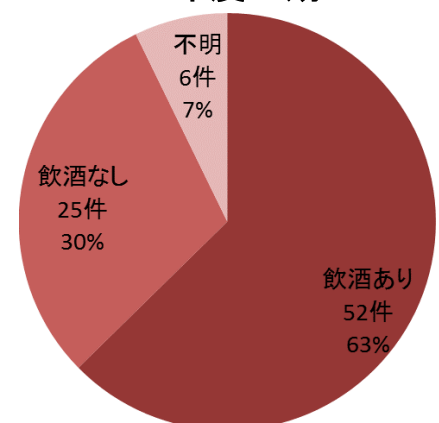
30年度上期



29年度上期



28年度上期



7. 具体的事例

【事例1】

曜日	土曜日	時間帯	深夜 (22時～終電)	場所	車内
契機	酩酊者に近づいて	年齢	20歳代	飲酒	あり

運転士は、電車内で寝ている男性を認め、降車を促した際に脇腹を数回殴られた。

【事例2】

曜日	金曜日	時間帯	深夜 (22時～終電)	場所	ホーム
契機	迷惑行為を注意して	年齢	70歳代	飲酒	あり

駅係員は、列車の閉扉を妨害していた加害者をホームに降車させた際、加害者が暴れたため、制止しようとしたところ、顎部を2度殴打された。また警察官が到着するまでの間も、首を押さえるなどの暴力を受けた。

【事例3】

曜日	土曜日	時間帯	朝 (始発～9時)	場所	改札
契機	酩酊者に近づいて	年齢	40歳代	飲酒	あり

駅係員は、怒鳴り声で何度も呼ぶ声を聞き、事情を伺うべくお客様のもとへ急行したところ、事情を確認するとICカードをタッチしたが反応しなかったとの申告を受けた。加害者は酩酊状態であったため複数人で対応したが、初めに対応した駅係員に対し一方的に語気を荒げ、右手拳で駅係員の顔面を1発殴った。

【事例4】

曜日	水曜日	時間帯	夜 (17時～22時)	場所	改札
契機	酩酊者に近づいて	年齢	50歳代	飲酒	あり

駅係員は、男性酔客から改札を通れないとの申告を受け、ICカードを確認し、通れる状態にして返したところ、いきなり右手拳で2発殴られた。さらに、制止した際に、右手首を噛まれ負傷した。

以上